

令和7年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月25日（金）午後1時15分から午後3時5分まで
- 2 開催場所 気賀小学校第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、長谷川真奈美、田力祐二、山田真代子、小田木真砂子、藤田嘉代、山口正人
- 4 欠席委員 木俣契一、石田潤司
- 5 オブザーバー 山口朋章（細江協働センター・コミュニティスクール担当）
- 6 学校支援コーディネーター 富田彩夏、宮木理恵
- 7 学校 石野政史（校長）、内山忠久（教頭）、太田恵理子（主幹教諭）、内山尚子（CSディレクター）
- 8 傍聴人 なし
- 9 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）

10 浜松市学校運営協議会規則の確認

内山教頭より、別紙資料に基づき、目的、任期、委員の守秘義務等についての説明があった。

11 議長の選出

議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 令和7年度学校運営協議会自己評価目標について

議長の指示により、内山教頭から、別紙に基づき本年度の学校運営協議会自己評価目標についての確認があり、全員異議無くこれを承認した。

13 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）いじめ防止等のための基本方針の説明
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

14 会議記録

司会の内山教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、石野校長から、別紙に基づき説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 将来的に職員数減が予想される中、今年度から取り組んでいくことはあるか。放課後の先生の時間を確保するために、CSで協力できることがないか考えていく必要がある。（山田委員）
- ・ 今までの教育活動の見直しが必要である。職員の仕事量を見直し、働きやすさと働きがいの両立を目指していく。今年度から、サルビア栽培をやめ、街頭指導、環境整備、資源回収への参加を軽減する。（石野校長）

- ・ P T A 役員とボランティアの方々との話し合いの場があるとよい。（小田木委員）
- ・ 保護者の理解を得るために P T A は必要である。（石野校長）
- ・ 他の学校と比べて気賀小は何が忙しいのか。（山口委員）
- ・ 本校は、職員の仕事の量が多いことはわかっている。今まであたりまえだったことを変えていく必要がある。（清掃の縦割り班をやめる、委員会の委員長を児童会役員にしていく、昼休みに集会を入れない等）（石野校長）
- ・ 日課変更により、中学進学した時の影響、授業時数は不足しないか、モジュールの使い方、昼休み短縮での友人関係への影響はどうか。（山口委員）
- ・ 午後は集中力が無くなるので、授業時間を短くしているが、中学での影響も無いと思われる。授業時数は足りている。昼休みを短くしたのは、6月以降暑すぎて外で遊べないことも考慮した。昼休み中のケガや友人関係のトラブルに対応できる人手が足りない。日課表が変わったばかりで説明不足のところもあるので、いろいろな機会の説明していきたい。（石野校長）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（２）いじめ防止等のための基本方針の説明

議長の指示により、石野校長から、別紙に基づき説明があり、全員異議なくこれを承認した。

（３）夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、内山教頭から、別紙に基づき説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項

- ・ 次回議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があった。
- ・ 次回会議は、令和7年6月24日（火）午後1時15分から第1会議室で開催する旨の報告があった。